

NAED 地域プランナー & コーディネータ(地域 P&C)の活動状況



一般社団法人地域づくり支援機構の「地域プランナー・コーディネータ(地域 P&C)」の活動状況を紹介します。

(2019 年 6 月 18 日現在)

地域 P&C 資格取得年次(2008 年～2015 年)

井ノ本直三(1) 今西弘子(1) 大塚徹(2) 大森淳平(2) 沖津和也(2)
小田明彦(3) 神剛司(3) 北森義卿(3) 木村衛(4) 阪口博明(4) 笹野義一(5)
城者定史(5) 高岡宏芳(5) 豊原雅裕(6) なかたにみさこ(6) 中村孝行(7)
野口隆(7) 野崎和生(7) 原田弘之(7) 堀越正夫(8) 村田武一郎(8)
矢倉芳夫(8) 若林稔(9) 吉田遊福(9) 吉村耕治(10)

地域 P&C 資格取得年次(2016 年～2019 年)

井上智路(10) 岡本昌也(10) 木本京子(11) 中辻孝之助(11) 野崎弘之(11)
布川拓海(11) 山本佑子(11) 東郷寛路(12) 稲森綾子(12)

(敬称略)

※1) 上記の氏名の後のカッコ内数字は、活動状況紹介頁数

※2) 以下の活動状況紹介の、地域 P&C の後のカッコ内数字は地域 P&C 認定年度

※3) 地域 P&C へ講演を依頼したい、地域づくり指導を依頼したい時は、<vision@nit-ass.jp>へ連絡ください。

地域 P&C 資格取得年次(2008 年～2015 年)

井ノ本直三 地域 P&C(2008)／男性／60 才代

一般社団法人地域づくり支援機構副理事長／一般社団法人まほら座(天理山辺元気プロジェクト研究会)理事

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇天理市「観光物産センター(ナビ天理)運営事業」(2013 年度)

◇奈良県退職者能力再活用「国内外の人たちが集う新しい奈良の創造に向けたコンサルティング事業」(2013～2014 年度)

◇まほら座の設立:地域の人々の資質を開花させる機会を創出し、潜在能力の発現の促進とともに、地域の主体性と関係者の協働・連携により、将来世代へ引継ぎ得る地域を創ることを目指し、2012 年市内若手経営者を中心に設立

◇2017 年 4 月より天理駅前施設群の運営に着手。2016 年 10 月、天理駅前再整備として「駅前広場及び地下駐輪場並びに観光物産センター」の指定管理募集に“まほら座”のプロデュースにより警備・設備・清掃のエキスパート企業と駐輪場管理のプロフェッショナル企業による TEAM TENRI が天理市より指定管理を獲得し、“まほら座”として「地域資源を活用した創造的で文化的な環境づくり」や「地域間の交流促進」の実現に向けて①観光物産センターによる地域に根差した商品の販売・紹介、新商品の開発支援、②駅前広場を活用した安心・安全並びに賑わいのある街づくりとして毎月2回の「コフンマルシェ」を開催するなど、“まほら座”の設置目的を着々と実現中

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域の特産品をベースに天理ブランドとなり得る新商品の開発支援

◇地域の人々が誇りを持てる地域づくり

◇豊富な地域資源を発信する拠点づくり(天理駅前施設群の効率活用)

◆特記事項

◇天理は、人口 7 万人弱の市であるが、大学や優れた医療機関に加え、歴史・文化遺産、特産品など地域資源が豊富であることから、発展の可能性が高い。

◇趣味:南米の管楽器「手づくりケーナ」の製作(時間がとれず封印中)

今西弘子 地域 P&C(2009)／女性／60 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事／NPO 法人奈良元気もんプロジェクト会員／いけばな一光流 家元直門教授

お茶とお花のお稽古サロン「夢あわせ」主宰／石州流茶道宗家石州会奈良県支部副支部長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇地域 P&C 養成塾講師「地域づくりにおける広報の基礎知識」(2011・2012 年度)

◇工房街道推進協議会企画委員(2010・2011 年度)

◇奈良の将来ビジョンをつくるフォーラムの運営に参画(2010～2012 年度)

◇平城遷都 1300 年祭に「もてなしボランティア」として参加(2009・2010 年)

◇大和郡山市「お城まつり“幻想桜灯”」に参加(2010 年)

◇郡山小学校記念パネル設置活動の広報活動を指導、支援(2014 年)

◇奈良元気もんプロジェクト主管の地域づくり活動(奈良まちおこし“結び会”リーダー、奈良県庁回廊での物産イベント“賑わい味わい市”、なら食祭、奈良県観光案内所(i センター)に参画(～2015 年度)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇奈良まちおこし“結び会”の発展と充実・再構築(地域 P&C の活動の一環と捉えて支援しています)

◇奈良のもつ歴史や伝統文化を地域の活性化とどう繋げていけるのかを模索してみたい。

◆特記事項

◇奈良 2010 年塾4期生

◇奈良まちおこし“結び会”とは、奈良県内の魅力ある「人・もの・できごと(イベント)」を結び、楽しくて新しい奈良を世界に発信していくことを通じて、奈良県全域の活性化を目指して活動している組織で、中学校社会科の教科書にも取り上げられました。

大塚徹 地域 P&C (2008) / 男性 / 60 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事 / NPO 法人奈良ストップ温暖化の会理事 / フードバンク奈良幹事

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇「まちなみギャラリー石景庵」指定管理業務(2008～2013 年度)および「宇陀松山夢街道」(まちなみライトアップイベント)、「宇陀松山華小路」(宇陀市特産ダリアの花のイベント)等の地域イベントの支援活動

◇奈良の将来ビジョンをつくるフォーラムの運営(2011～2012 年度)

◇奈良県「シニア地域貢献活動実践者養成講座」運営業務(2012・2013・2015・2016 年度)シニア世代が地域づくりや地域の活性化に貢献できる活動を行うとともに、その人自身の生きがいににつながることを目的に、実践者としての知識・ノウハウを学ぶための講座を運営

◇奈良県受託: 吉野川「川の教室」事務局業務(2013 年度)

◇生駒市社会福祉協議会「いこいこサポーター養成講座」の指導・支援(2018 年度～)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇(環境)脱炭素の地域づくり、(福祉)生涯活躍のまちづくり

◆特記事項

◇Ecological Development の原点を忘れないようにしたい。

大森淳平 地域 P&C (2013) / 男性 / 30 才代

(有)OM 環境計画研究所代表 / 工房街道推進協議会理事・事務局長

一般社団法人未来エネルギー奈良理事 / 帝塚山大学非常勤講師

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇地域の歴史・伝統・文化、自然、食、人など、地域が持つ特性を生かして、住民と一緒に地域の将来像・あり方を取りまとめ、自主的に運営に向けて企画・立案から会計、広報、評価検証など総合的に指導・支援

◇町会・自治会や集落、学校区単位の支援から、市町村間や、府県を跨ぐ事業まで、その範囲に応じたプランニング・コーディネート

◇地域の活性化、賑わい創出、移住・定住促進、高齢者の見守り活動、産業振興などその地域が抱える課題・テーマに応じた解決策を提示

◇プロジェクトごとに専門家等のチームを構成

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域振興計画、商店街振興、観光まちづくり、地域コミュニティ・住民自治の支援、低炭素まちづくりなど

◆特記事項

◇廃校校舎の活用ーてんかわ天和の里(旧天川西小学校)の運営支援

◇工房を生かした新たな観光交流ー工房街道推進協議会運営

◇地域の歴史・伝統・文化を生かすー吉野大峯・高野観光圏協議会にて 6 市町村連携事業を支援

◇空き家対策、移住・定住ー上北山村空家実態調査・空家等対策計画

◇人と自然の共生ー大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク支援(情報発信等)

◇郷土愛醸成ー大台町副読本制作

◇中心市街地活性化・商店街振興ー道頓堀商店会将来ビジョン策定

◇住民自治の支援ー大阪市中央区まちづくりセンター運営

◇再生可能エネルギー活用まちづくり(低炭素まちづくり)の調査・計画

沖津和也 地域 P&C (2013) / 男性 / 70 才代

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇和歌山と奈良を結ぶ産物の販売: 紀州蜜柑、柿、南高梅等の販売

◇小学英語、大人の英語指導(自前の教室を所持)

◇上記教室を各種会合、音楽家の演奏活動後の打上げ会や地区のサイクリングクラブのプラン会議等に活用

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇ロボット時代の流れに乗り、ロボットを学ぶ拠点をつくります。

2018 年 4 月にロボットアカデミー鹿ノ台校を開設(対称は小学生から大人まで)

◆特記事項

◇P&C 取得以前の活動: 自宅庭に公共広場開設(現在閉鎖して自前教室に拠点を移し活動中)

◇趣味: サイクリング、レゴロボットの組み立てと動かすためのコンピュータプログラムづくり

◇語学: 英語、中国語、インドネシア語、ドイツ語の学習と研究

英語で数学書を読むこと、日本・中国の古典をひも解くこと

◇特技: 小学英語指導教師資格所持、通訳案内士法の改正に基づく全国通訳案内士(英語)資格所持、国内旅程管理業務主任者資格、現在、海外も案内できる上級管理者資格に挑戦中

◇第3級陸上特殊無線技士(所持しているドローン操縦に必要なため)

◇一般財団法人健康・生きがいづくり財団認定「健康生きがいづくりアドバイザー」

小田明彦 地域 P&C(2010)／男性／50 才代

杖里 ism 代表／(株)ジャパンインターナショナル総合研究所都市計画事業部主任研究員

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇自治体における地方創生関連事業支援(観光振興、協働推進等)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域 DMO の構築～運営支援

神剛司 地域 P&C(2009)／男性／50 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事/地域 P&C 養成塾塾頭/奈良フェニックス大学講師/文化財保存修復学会会員
(株)乃村工藝社 ミュージアムプランナー(主に博物館の基本計画・展示設計)

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇現職の乃村工藝社の仕事の中で、施設の整備だけで終わるのではなく、地域 P&C の視点を活かし、地域の活性化につながる企画・提案を行っている。

◇奈良県下の某資料館展示リニューアルで、地域資源ガイド映像の企画設計を行った際は、NAED の人的ネットワークを活かし、「生年月日による性格占い」と展示物、地域資源を結びつけたガイド・プログラムを提案・制作した(NAED と仕事が結びついた嬉しい事例)。

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域の博物館・地域の文化財を活用した地域づくり活動

◆特記事項

◇「箱モノ」と揶揄され続けた博物館を市民協働のシンボルにしたいと考え、「市民の、市民による、市民のための博物館」を本当に実現するために、NAED のメンバーの支援を得ながら Win・Win の関係を育みたい。定年を迎えたものの、他に芸もなく、引き続き、在職中

北森義卿 地域 P&C(2009)／男性／70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事／室生村森林組合組合長

地域活動グループ「深野〇〇会」代表&「深野ササユリ保存会」世話役／室生国際交流村実行委員会会長
奈良フェニックス大学講師

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇室生深野(中山間地域)における地域づくり活動

・地域づくりは「行動する」「続ける」「楽しむ」「地域住民が主役」「テーマを共有」を 掲げ活動

・地域おこし協力隊員と協働し活動

・地域づくりはそこに住む多くの住民が参加することが重要であり、2013 年、日本ユネスコ協会連盟より地域全体で取り組む「ササユリ保存活動」が 100 年後の子どもたちに残したい活動として「ユネスコ未来遺産」に認定された。

◇室生小学校、室生中学生への環境教育支援

- ・テーマ: 自分達の住む地域の良さを見直そう。森を活かす間伐体験。木工体験
- ・森林やダムの持つ様々な機能を知ろう。

◇近畿経済産業局より、室生国際交流村の活動が「感性サービス選」に認定された。

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇行政に頼らない、地域自らつくる地域活性化
- ◇女性、若者、行政職員が積極参加・活動する地域づくり
- ◇奈良市東部地域の活性化

◆特記事項

- ◇深野〇〇会は結成 32 年。「新しい田舎の時代がやってくる」を掲げて、地域の環境美化、都市との交流、伝統行事の継承を積極的に進めている。
- ◇「にほんの里 100 選」に認定される。
- ◇移住希望者を積極的に受入、空家がない集落として関心を持たれている。
- ◇室生国際交流村は結成 13 年目。地域活性化のために、宇陀市全体で、海外の若者を団体で、短期ホームステイ受入実施。外務省関係その他、日本の家庭でのホームステイ希望は多い。

木村衛 地域 P&C (2008) / 男性 / 70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構顧問 / 帝塚山大学大学アドバイザー / NPO 法人奈良好き人のつどい理事
景観ボランティア明日香会長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇地域 P&C 養成塾講師
- ◇奈良フェニックス大学講師
- ◇明日香村の景観保全を目的とするボランティアに参画ーボランティア活動(作業)を通じて地元の人たちと交流を深めながら景観保全に貢献する“景観ボランティア明日香”のメンバー
- ◇農業生産法人を設立して新規に農業を始める経営者に対するアドバイス等の支援

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇「安全安心、新鮮、美味」の農業と地域潜在力を生かして奈良県の田舎を元気にしたい。

◆特記事項

- ◇明日香村において“農業を活かした地域づくり”に尽力
- ◇農業の癒し機能に着目した地域活性化を提案し“信貴山のどか村”を企画・計画
- ◇曽爾村において荒廃地の有効利用による“クラインガルテン”開設を提案

阪口博明 地域 P&C (2008) / 男性 / 70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事 / 奈良フェニックス大学事務局次長 / NPO 法人斑鳩文化協議会理事長
NPO 法人奈良県防災士会員

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇奈良フェニックス大学(シニア世代の地域活動等人材育成・ネットワークづくり)
団塊世代の盛年(リタイアド)が地域で眠っている。多くの社会経験や知識という宝をもつこの人たちに、地域に再デビューしていただき、地域活性化の一助を担っていただくのが肝要である。しかしながら、多くの方々は地域にとけ込みたいと思っても、なかなかとけ込めないように感じていると思われる。せっかくの貴重な人材が埋没されている現状を解決する一歩として、この世代が興味をもつ講座を設け、そこでの出会いを通して地域への貢献につなげたいと考える。

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇地域活動グループ同志・個人のネットワークづくり(特に奈良フェニックス大学修了生対象のネットワーク)
- ◇行政と協働し地域防災活動(特に地震災害への軽減を目的とする地域住民への啓発)

笹野義一 地域 P&C (2008) / 男性 / 60 才代

一般社団法人地域づくり支援機構監事 / まほろば研究センター 県民研究員制度研究プロジェクトリーダー
奈良フェニックス大学講師

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇宇陀松山華小路: 毎年 10 月、ダリアの花を道路に敷き詰めて絵を描く地域おこしイベントの支援活動
- ◇奈良フェニックス大学において野鳥観察クラブを指導。身近な野鳥観察ガイドブック「おきにいり 身近に観られる 野鳥たち」、外国人向け野鳥パンフレット「Familiar Wild Birds in Nara Park」を制作
- ◇野鳥データベースづくりネットワーク奈良県の野鳥データを収集している。
- ◇小学生、地域住民を対象とした野鳥観察会の実施
 - ①「わくわく！ チョウ探し隊」(奈良市生涯学習財団平城西公民館) 毎年 11 月実施 小学生以上 約 30 名
 - ②「笑郷(えこ)まほろば」(香芝市)主催自然観察会の野鳥観察会(年 2～3 回)を担当し、参加者と自然の不思議を探している。
- ◇小学校高学年に配布される「奈良探検ミュージアム」にジョウビタキとメジロについて寄稿
- ◇「奈良好き人クラブ通信」に野鳥記事寄稿
- ◇「身近な野鳥観察会」を 2018 年 4 月に始め、馬見丘陵公園で 2 カ月に 1 度野鳥観察会を実施し、年間を通して観察し、生き物の繋がりを体で感じてもらいたいと思っている。
- ◇「身近な野鳥写真展」(場所: 川上村の森と水の源流館、期間: 2018 年 11 月～2019 年 3 月)
身近な自然に親しむきっかけづくりとして、身近な 20 種類の野鳥の写真を中心に、卵、羽根、巣などを併せて展示した。野鳥関係のイベントは同館初の試みである。

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇人の生活の基盤である自然環境に目を向けた地域づくり
- ◇緑の回道づくり

◆特記事項

- ◇趣味: 身近な野鳥や昆虫などの自然観察

城者定史 地域 P&C (2011) / 男性 / 40 才代

(学)大阪 ECO 動物海洋専門学校教務副部長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇海の再生と地域活性化: 若者(学生)が島嶼を訪れ、漁業体験や海藻の森づくり、生物調査等、海の再生活動や漁師の手助けを行い、それが結果的に漁村活性化、魚食文化の継承、地域づくりへと繋がっていくプロジェクト
- ◇「環境資源を観光資源へ」をテーマに「京丹後海蝕洞窟ダイビングプロジェクト」や「大阪湾ダイビングプロジェクト」「都市型エコツアー」「海跡湖サバイバルキャンプ」等に取り組んでいる。
- ◇お茶づくりHerb Project: 家庭環境や学習能力、精神疾患などの問題のある若者(学生)に自然農法の大和茶やハーブの栽培から加工・商品化・販売までを实践させ、お茶やハーブの楽しみ方をトータルにコーディネートできる力を身につけたハーブスペシャリストを育成する、若者と地域を再生するプロジェクト

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇自然環境資源を活かした持続可能な地域づくり

◆特記事項

- ◇水中写真撮影・ドローンを使った空撮などが可能です。
- ◇ダイビングの技術・水中撮影の技術を活かしたプロジェクトに協力できます。

高岡宏芳 地域 P&C (2014) / 男性 / 70 才代

奈良フェニックス大学地域研究科フェロー / 西大和 NT・SB 協議会副代表 / NPO 奈良県防災士会理事

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇防災・減災活動で地域コミュニティの重要性を地域住民へ啓発活動
- ◇行政への地域コミュニティづくり(ボランティア活動)における協働作業の支援・協力

◇奈良フェニックス大学で学んだノウハウとネットワークを活かし、地域コミュニティの活性化を図る(シニア世代の地域でのお友だちづくり支援等・ネットワークの構築)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域活動グループ・個人のネットワークの構築(居場所“つどい”でできた住民同士のネットワークづくり)

◇居場所“つどい”を中心に引きこもりシニアへのイベント開催等で PR 活動

◇地域で眠っている団塊世代・盛年(リタイアド)が、自治会活動を通じ近所デビューの“きっかけ”づくり、地域で支え合える地域づくり活動(買い物難民・認知症・片付けなど軽微な生活応援)

◆特記事項

◇定年退職後に一念発起、四国歩き遍路に4年間かけ「一期一会」を心得、これからの人生にと自分探しで巡拝した。心身ともに経験ができたことは、余生の宝になった。

◇河合町と帝塚山大学は街再生に対し、相互に協力し、町の活性化と大学の研究促進・人材育成に寄与することを目的とし、2015年7月に協定を締結し、今後の活動において研究会等を発足、地域のニーズを調査のうえ、まず、活動拠点がキーポイントになり、居場所“つどい”を2016年5月に開設。ボランティアを募り活動中

豊原雅裕 地域P(2014)／男性／60才代

奈良フェニックス大学地域研究科在籍

◆地域P&C認定後の地域づくり活動

◇観光ボランティアガイド、金魚マイスター、石垣の語り部、防災士、まちかどレポーター、奈良フェニックスクラブ活動など

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地元大和郡山市のまちづくりへの提言活動、安全安心なまちづくりへの実践活動

◆特記事項

◇地域を良く知ることと、それを伝える活動と併行して、次世代に繋げるまちづくりへの提言と実践活動を行っている。既に基盤ある各組織のなかでの課題解決に向けた活動に地道に寄与したいと考えます。

なかたにみさこ 地域P&C(2010)／女性／50才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事／山都物語有限責任事業組合／ひとまち元気カンパニー代表

奈良地域の居場所プロジェクト長／大阪を変える100人会議事務局／てんり未来ミーティング世話人

タカジュフン@なら代表

◆地域P&C認定後の地域づくり活動

◇吉野町地域福祉計画策定受託(2011年度)

◇奈良県新しい公共支援事業中間支援組織新設・強化のための研修企画「南部で考える魅力ある南部のまちづくり～南部の活性化のための市民による活動のネットワークづくりに向けて」(2012年度)

◇介護保険研究会地域福祉に関する研修講師(2012年度)

◇宇陀市まちづくりリーダー育成研修講師(2013年度)

◇奈良県「シニア地域貢献活動実践者養成講座」運営業務(2015～2016年度)

◇奈良県地域おこし協力隊研修(～2016年度)

◇奈良県“地域の居場所”調査事業(2016年度)

◇「てんり未来ミーティング」開催(2018年度～)

◇「対話でまちづくり」プロジェクト(2019年度～)

◇生駒市社会福祉協議会「いこいこサポーター養成講座」コーディネータ(2019年度)

◇その他市民活動や行政の研修や会議の講師・ファシリテーター多数

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇住民自治のサポート

◇対話による組織開発

◇地域福祉のプロデュース

◇地域福祉計画の策定

◇シチズンシップ教育

◆特記事項

◇「地域福祉＝すべての人の幸せな暮らし」：奈良の山間部をはじめ、地域福祉の視点で、必要な人財を育成、組織をオーガナイズ、そして協働を生み出すプロデュースを提供

◇各セクターの主体性を、全体を巻き込んだ対話から引き出していくことで、今までになかったアイデアを生み出し、人が元気な“住みたい”地域づくりをサポートします。

中村孝行 地域 P&C (2013)／男性／20 才代

◆特記事項

◇写真撮影・編集のお手伝いができます。

野口隆 地域 P&C (2008)／男性／70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事／奈良学園大学特別客員教授／元・奈良県立大学客員教授

航空機部品ネットワーク会員

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇2016 年から、上北山村の地域おこし活動に参加しています。30 代女性メンバーの創意工夫がすごいです。

◇奈良フェニックス大学運営委員会副委員長・講師「農業の 6 次産業化」を講義

◇地域づくり支援機構理事・地域 P&C 養成塾講師「地域資源活用法」

◇大阪市、天理市などの委員

◇産業振興・まちづくりなどの地域づくり団体を応援

◇共著『共生社会論の展開』（晃洋書房）に「手作りの観光地域づくりと共生社会」を執筆

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇奈良山間部の地域活性化

◇森と都市住民の関わりに関する活動

◆特記事項

◇趣味：低山歩き、航空機ファン

野崎和生 地域 P&C (2009)／男性／70 才代

地域づくり団体ツチノコ共和国代表／（社）奈良健康生きがいづくり協議会副理事

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇親が亡くなり、空き家となった家屋を利用してツチノコ共和国王宮、ツチノコ資料館や奈良フェニックス大学セミナーハウスとして活用

◇大人の林間学校を開催、都市住民と積極的に交流

◇三県境地域のガイド

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇三県境地域の地域資源を再認識し、活かす活動

◆特記事項

◇あきらめないで頑張りましょう。仕掛け次第で交流の輪が広がります。

◇ツチノコ探検で得た成果を継続させるため、地域づくり団体ツチノコ共和国を建国（1989 年）。地域資源を活かしたイベントを開催するとともに、情報発信を続けている。

◇趣味・特技：山野草栽培、自然観察

原田弘之 地域 P&C (2008)／男性／50 才代

（株）地域計画建築研究所（アルパック）執行役員、地域産業イノベーショングループ長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇商品づくり支援部会:2011 年度に、奈良発の主にお土産物を発掘、ブラッシュアップするために、「奈良発！うまいもん選手権 in 天理」と、「うまいもん講座」を開催した。また 2012 年度には、引き続き、「うまいもんデビュー支援講座」を開催した。

◇東吉野村での村おこしをサポート、奈良県中央卸売市場の活性化を検討

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇若者が地域に誇りをもち、住みつつけられる地域づくり(雇用づくり)

◆特記事項

◇こだわりは、「おいしい×うれしいまちづくり」。地域の元気と幸せを「農業・観光」からアプローチします。

◇特に、産地とマーケットをお互いが win-win になるようにつなぎたい。

堀越正夫 地域 P&C(2009)／男性／60 才代

一般社団法人地域づくり支援機構専務理事・事務局長／堀越社労士経営支援事務所代表

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動同支援活動の内容

◇奈良の将来ビジョンをつくるフォーラムの運営に参加(2010 年～2012 年)

◇奈良において実行すべき地域政策やプロジェクトの立案・提案・実行支援を行う「まほろば研究センター」の運営を支援(2012 年～2013 年)

◇地域づくり P&C 養成塾の運営を支援(2012 年～2017 年)

◇地域づくり支援機構の事務・業務運営により各 P&C の活動の支援(2014 年～2017 年)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域の子どもたちが、その地域に愛着をもてるような活動を行う。

◇地域企業の活動への支援を通して、地域活性化を行う。

村田武一郎 地域 P&C(2008)／男性／70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事長／奈良フェニックス大学運営委員長・学長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇奈良県各地域における地域づくりを指導・支援

◇奈良フェニックス大学(おとなの学びとつどいの場)設立・運営・講義

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇各地域における地域づくり人材の育成と発展する奈良づくり

◆特記事項

◇奈良フェニックス大学は、盛年層(シニア世代)が、これからのライフスタイルを学び、仲間づくりを行うとともに、地域社会の将来のための活動を行うにあたっての知識やノウハウを得るための機会と場を提供することを目的として、2013 年 4 月に開校。2018 年 4 月現在、教養学部、地域研究科、ものづくり科、特別講座(奈良の歴史講座)があり、毎年約 150 名が在籍。講師は 55 名

◇『地域 P&C 教科書』を執筆・編集(2019 年 4 月発行)、『小説 地域はみんなで創る』を執筆(2019 年 6 月配信)

矢倉芳夫 地域 P&C(2011)／男性／50 才代

ロート製薬㈱広報・CSV推進部副部長

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇生駒ビブリオ倶楽部設立とビブリオバトル運営:ビブリオバトルは、京都大学にて始まった知的書評合戦で、テーマに沿って推薦本をそれぞれ 5 分間でプレゼンし、観覧者が最後に一番読みたい本に挙手し、その日のチャンプ本を決めるというイベント。生駒では市立図書館と協同し、毎月第 4 日曜日に開催・運営。現在部員は 15 名ほど

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇生駒(奈良)の文化を育み、楽しむ活動

若林稔 地域 P&C (2011) / 男性 / 70 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事 / 今井町町並み保存会会長 / 今井町町並み保存住民審議会会長
橿原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員 / 全国町並み保存連盟監事
帝塚山大学大学アドバイザー / Nara 観光コンシェルジュ認定 / あしたのなら知事表彰

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇大学生・留学生に、地域づくり、まちづくりの活動、勉強の場を提供し、彼らの第 2 の故郷づくりを実施中(ただ今と言って、我が家に帰ってくる学生たちは 300 人を超えている)
- ◇地域 P&C 養成塾今井町受入れ: 地域 P&C を目指し養成塾に入塾した人たちに体験できる現場(今井町)を提供し、養成塾生のレベル向上に寄与している。
- ◇羊プロジェクト: 羊による除草と子供たちのふれあい活動を提起・啓発中(2012 年秋から開始)。山添村の「めえめえ牧場」の羊を使って、鉄道の土手、耕作放棄地など雑草で困る地域と、飼料不足に悩む牧場、両者の悩みを羊の出張で解決する計画を立案・実行中で、年数回の羊投入により子供たちの参加、地域コミュニティという副産物が大きな効果を生んでいる。2013 年には NHK の全国放送により、福井県、兵庫県をはじめ県外で数か所が採択。2014 年からは、県下でも中学校や近鉄線・公共道路の法面での放牧が実施されて、地域が動き始めている。
- ◇少年期から郷土愛をもてる教育の場を提供できるまちづくり(年に 3 回小学校で授業をもつようになった)
- ◇奈良医科大学と連携した「医学を取り込んだ町づくり」学園祭・着物でジャズなどのイベントを通じて共同作業は始まっている。

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇学生たちの潜在能力を引出し、活躍の場を提供できるまちづくり
- ◇地域と地域を連鎖させて、潜在資源の面的活用を図りたい。中山間部の産物を今井町などの商業地域・消費地域で集散させる取り組み(町衆市・着物でジャズなどのイベント時に集散を始めているが恒例・定着させたい)
- ◇古民家を購入して今井町に関するコミュニティの場を構築中(修復からすでにワークショップで実施、研修の場としていく)

◆特記事項

- ◇約 30 年前から、伝統のある今井町の町並み保存を考えるとともに、よりよい住民の生活環境づくりを目的とする活動を続けてきた。今井町の町並み保存は、小学校の社会科の教材になり、今井町のおもてなしが小学校の教材に提起されている。
- ◇小学校の道徳の教科書に実名で掲載
- ◇特技〔書道〕日本書芸院、漢字: 二科審査会員、仮名: 無鑑査会員・読売書法会評議員、。〔登山〕元. 奈良県山岳連盟公認指導員、第 17 回・21 回国体山岳競技奈良県代表。〔日本ボーイスカウト公認指導者〕
- ◇趣味〔柴犬の研究〕元. 財団法人天然記念物日本犬保存会審査補助員、元. 財団法人天然記念物日本犬保存会奈良支部副支部長。〔茶道〕裏千家講師・今井宗久を取り巻く茶人たち・大和の茶道の研究、〔スキー〕。〔造園〕。〔大工・木工〕
- ◇その他の資格: 応急手当指導員、防火管理者

吉田遊福 地域 P&C (2009) / 男性 / 50 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事 / Heart&Soul Lab 代表
奈良県移住定住交流センター engawa 移住コンシェルジュ / 帝塚山大学非常勤講師

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

- ◇地域づくり支援機構 P&C 養成塾の企画・運営(2011~2013 年度)
- ◇奈良県地域おこし協力隊員(2012~2013 年度)
- ◇なんゅう祭「村弁王(村おこし弁当)決定戦」事業(2013 年度)
- ◇奈良県「国内外の人たちが集う新しい奈良の創造に向けたコンサルティング事業」あいプロジェクトプロジェクトリーダー(2014 年度)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

- ◇奥大和地域の移住やインバウンド、ライフスタイルの取り組み

◆特記事項

◇写真やソーシャルメディアの活用を得意とし、その分野から地域づくりの支援をしています。

吉村耕治 地域 P&C (2013) / 男性 / 40 才代

クラフトワーク代表 / 山都物語 LLP 組合員 / 帝塚山大学非常勤講師

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇吉野町地域おこし協力隊として、アニメを使ったおもてなしのまちづくり(2012～2015 年度)

◇地域づくり支援機構 P&C 養成塾の企画・運営(2016・2017 年度)

◇山都物語 LLP: 奈良県下地域おこし協力隊活動報告会・研修会企画運営(2015 年度) <奈良県地域貢献活動助成事業採択>、研修会企画運営(2015～2016 年度) <奈良県南部東部振興課と共働>

◇殿川集落(限界集落における地域づくり)

・大阪国際大学田中ゼミのフィールドワーク受け入れ

・殿川小水力発電研究会代表

あしたのまち・くらしづくり活動賞受賞(2016 年 11 月)、市民参加による水車の更新(2017 年度東洋ゴムグループ助成事業)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇SDGs(持続可能な発展目標)を考慮した地域づくり

◇地域防災における、ピコ発電の普及やアマチュア無線を使った外部との連絡体制づくりの支援

◆特記事項

◇2012 年 5 月、50 万人都市から人口 8 千人の吉野町へ移住。元吉野町地域おこし協力隊。現在、10 軒 11 人の「限界集落」に居住し、集落内外の地域づくりに取り組む。

◇山村でのなりわいづくりを実践する多業家。地域づくりコンサルタント、電気工事業、PC の修理・メンテナンス、学習塾講師を手がけ、大学で NPO の「経営組織論」を教える。

◇防災士資格取得(2017 年 5 月)

地域 P&C 資格取得年次(2016 年～2019 年)

井上智路 地域 P&C (2016) / 男性 / 50 才代

大工工事業代表

◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動

◇むろうトライアングル構想(同期塾生の補助活動)

◇堺市環濠都市北部地区町なみ再生協議会

空き家の再生工事、建築意匠の提案、修繕工事、活用の提案

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域建築職人たちのブランド化が可能か考えてみたい。

岡本昌也 地域 P&C (2016) / 男性 / 50 才代

技術士(電気電子) / 事業承継士 / 健康管理士一般指導員 / 環境管理士

(株)自然力研究所代表 / 結インターナショナルシステムズ(株)代表 / 一般社団法人国連 PRIDE 日本顧問

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇自然的な農法、自然環境保護・改善、そして安全安心の 6 次産品づくり等を重視した地域づくりへの貢献

◇地域商店街の活性

◇居住地の関係で京都を中心に、奈良・滋賀とも連携がとれるような活動にしていきたい。

◆特記事項

◇趣味: 自然のメカニズムに基づく農法での家庭菜園。旅行

- ◇事業者さんの支援等もさせて頂いております(デバイス技術・IoT 関連・人財育成・WEB 集客・事業承継等)
- ◇最新技術による廃棄物処理(PCB・アスベストなど含む)装置や自然エネルギー発電などでも地域の課題解決にお役に立ちたいと思っております。

木本京子 地域 P&C (2016) / 女性 / 40 才代

今井町町並み保存会理事 / (株)南都銀行(南都コンピュータサービス(株)出向中)

- ◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動
 - ◇今井町町並み保存会にて広報活動サポート
- ◆今後取り組みたい地域づくり活動
 - ◇住民参加型のまちづくり

中辻孝之助 地域 P&C (2016) / 男性 / 50 才代

一般社団法人地域づくり支援機構理事・事務局次長 / (株)キャットマネジメントコーポレーション代表取締役

- ◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動
 - ◇奈良県立大学フィールドワーク支援
 - ◇地域 P&C 養成塾でのプロジェクト継続
- ◆今後取り組みたい地域づくり活動
 - ◇観光まちづくり活動
- ◆特記事項
 - ◇芸能・イベント制作系コンサルタント及び財務アドバイザー、労務管理アドバイザー、戦略立案等の経営コンサルタント業を営む一匹狼
 - ◇P&C 養成塾でのプロジェクト「むろろトライアングル構想」の実現に向け、魅力ある観光地づくりを目指す。

野崎弘之(Noja) 地域 P&C (2016) / 男性 / 40 代

ゲストハウス奈良日和り: 宿主 / 南山城村役場むらづくり推進課: 移住定住推進員

- ◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動
 - ◇南山城村空き家リノベーション計画(プロジェクト)の企画
 - ◇南山城村空き家所有者の特定作業&意向調査&バンク登録
 - ◇南山城村移住交流スペース「やまんなか」の運営(移住相談窓口&移住促進イベント企画)
 - ◇和東町・笠置町・南山城村における「移住呼びかけ人」事業(相楽暮荘)の企画&ツアーガイド
 - ◇全国の地域おこし協力隊ネットワークの継続
- ◆今後取り組みたい地域づくり活動
 - ◇京都府広域における滞在型援農プログラムの作成
 - ◇奈良&三重&京都&滋賀の隣接エリアにおける暮らし人巡りツアーの作成
- ◆特記事項
 - ◇「ゲストハウス奈良日和り」は、近鉄奈良駅から徒歩 7 分。世界 40 カ国からの旅行者の受け入れをしていると同時に、地域活動をしている人たちの集まる場として開放しています。現役の地域おこし協力隊員は「宿泊無料」

布川拓海 地域 P&C (2016) / 男性 / 30 才代

- ◆特記事項
 - ◇趣味: 旅(日本全国まわっています)、写真撮影、登山

山本佑子 地域 P&C (2016) / 女性 / 30 才代

曾爾村地域おこし協力隊

- ◆地域 P&C 認定後の地域づくり活動
 - ◇小長尾ゆず生産組合「たわわ」
- ◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇曽爾村と町の人をつなぐような活動をしたい。

◆特記事項

◇協力隊2年目に入りました。ふだんは農家になるべく勉強中ですが、それだけでなく村の活性化につながるようなこともしていけたらと考えております。

東郷寛路 地域 P&C (2018)／男性／70 才代

◆地域 P&C 取得後の地域づくり活動

◇京終地区の地域づくりと食文化の創生

- ・京終大皿会の運営・企画を通じて、「奈良の食文化興隆」をテーマに地元と周辺地区との連携を取り、食への関心を高め、開発支援を行う。
- ・上記の関連情報を WEB 情報にして、広報手段をつくる(企画中)

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇県内関連団体との交流を通じて、食の殖産化の道筋づくりに努める(併せて創発活動の促進活動、人材育成等)

◆特記事項

- ◇自分は、コンテンツ、メディアに各々20年のキャリアがあり、創発活動やその促進法のマネジメントの経験があります。
- ・「食」は奈良の大切なコンテンツです。が、素材のままでは世の注目を浴びるには限界があるように思います。
 - ・都市圏周辺部を中心に地域の個性を様々な生かそうという消費行動も見られます。

稲森綾子 地域 P&C (2019)／女性／50 才代

宇陀市営農組合アイサ・イボリーズ大阪支部 支部長

◆地域 P&C 取得後の地域づくり活動

◇宇陀市菟田野にて、耕作放棄地を活用してヨモギ栽培。また、地域の資源を使つてのアロマオイルづくり

◆今後取り組みたい地域づくり活動

◇地域 P&C 同期生石井氏の地ビール用の大麦栽培

◆特記事項

◇介護福祉士として福祉の仕事に携わった経験から、自宅での介護のアドバイス等お手伝いできると思います。